

福岡の“いま”を伝える地域経済情報誌

5 2017  
月号

# ふくおか経済

FUKUKEI  
vol.345

特集

人材ビジネス  
福岡市幹部職員人事  
ピーコン

ZOOM UP  
第一電建

特別インタビュー  
九州運輸局長

表紙の人

## 水田祥代

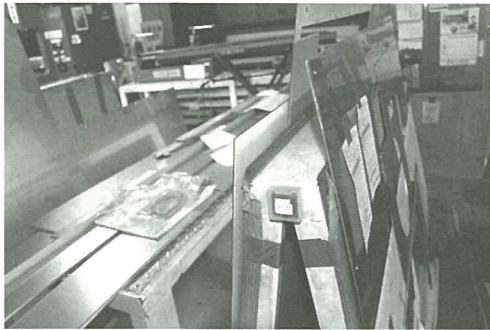
福岡学園理事長

「口腔医学」教育のさらなる充実へ、看護大始動

特集  
Feature Article

## 天神・地価最高地点 東京、大阪の都心部並に





折り畳み部分にビーコンを取り付けている工場内の台車

た台車280台にビーコンを設置し、位置情報を発信させるスタイルを採用した。同社オリジナルの4種類の台車は大きさ、形状もさまざまで、約5グラム、37ミリのコンパクトなビーコンは取り付けやすい。ビーコンの電波を検知するセンサーは工場内に60個で、受信機はアルミ素材のL字型の取り付け台を使用し、情報を受信しやすいよう、高い位置に設置した。

どの部品をどの台車に載せたのか、システムの管理画面に入力し、他の

展開に向けて協議を進めている。

山本部長代理は「ビーコンの特徴を理解し、最大限に生かせる仕組みを構築したことで、既存の自販機のサービスをさらに強化することができた」と冷静に分析する。自販機の付加価値に向けた一つの取りかかりとして着手したビーコン。今後のサービスの充実化にも活用することを視野に動きが進んでいる。

「部品管理の徹底はもちろん、技術者がモノの在処を探す過程に時間を費やすのが惜しかった。ヒトの手は使うべきところに使い、そのほか流動

展開に向けて協議を進めている。

山本部長代理は「ビーコンの特徴を理解し、最大限に生かせる仕組みを構築したことで、既存の自販機のサービスをさらに強化することができた」と冷静に分析する。自販機の付加価値に向けた一つの取りかかりとして着手したビーコン。今後のサービスの充実化にも活用することを視野に動きが進んでいる。

町、美濃部直樹社長）は、自治体と連携し、観光分野に特化したアプリと独自のシステムを展開して

町、美濃部直樹社長）は、自治体と連携し、観光分野に特化したアプリと独自のシステムを展開して

町、美濃部直樹社長）は、自治体と連携し、観光分野に特化したアプリと独自のシステムを展開して

町、美濃部直樹社長）は、自治体と連携し、観光分野に特化したアプリと独自のシステムを展開して



ID番号が表示され、内部のビーコンとスマートフォンとの通信が接続されている状態。この後、自販機の商品がアプリ内に読み込まれる

特徴を生かしたサービスは有効に働く。データ収集や管理にも役立つため、共創価値（CSV）の実現として地域社会の活性化につながる分野でも活用していきたい」と展望する。例えば、ウォーキングコースの目印地点としてスマートフォンに距離を感知させる仕組みや児童の登下校の見守りサービスなど、自販機が固定されている場所を「スポット化」し、その位置情報をより有効に活用する考えだ。

また、このように先駆



田名部徹朗 三松社長

### 三松 位置情報把握でロスタイム削減 台車に搭載でモノの動きを管理

金属加工品製造の(株)三松（筑紫野市岡田3丁目、田名部徹朗社長）は昨年6月、工場内のモノの流

れを把握する手法として、ビーコンを活用した位置情報管理システムを導入した。

コインパーキングの料金機械や屋外に設置される携帯基地局の装置の箱、自動販売機など金属板を加工したさまざまな製造を手掛ける同社は、少量・

多品種の小ロット生産が特徴で、製品加工は8000〜9000種類、取り扱う部品数は月約10万個に上る。現在、半導体や液晶が3割、建築部品が1割で、取引先の業界は建築から通信業、医療業など幅広い。繁盛期が異なる分野を組み合わせる月の稼働率を平準化しているが、扱う点数の多さから部品管理の徹底が以前から課題とされていた。田名部社長は、「部品管理を課題として認識し始めたのは97年。管理というよりも、モノの流れを把握することが先決だった」と振り返る。

田名部社長は「本格導入の前に、3〜4カ月の実証期間を設けた。当初は一定の量を集めた部品のかたまりにビーコンをつけていたが、うまくいかなかった」と実証の中で「気づきを振り返る。

### 280台の台車にビーコン設置 60カ所のセンサーで位置情報を受信

実証結果を生かし、部品ではなく、部品を載せ

的なきには、このような機器を使うなどしてスマート化していくことが製造業にとって重要になってくる」とし、注力すべき過程を見極めること、ヒトとモノ、それぞれの役割分担を明確にすることに重きを置いている。

「おさんぼうきは」とビーコンを連動させたサービスを開始したことを皮切りに、県内各地域、県外にも広がりを見せている。

田名部社長は「今後、AIの導入など、さらなるステップアップを目指すべく、ビーコン導入による新たな製造体制の構築や強化が今後につながることを期待している」と展望する。

同社は、既に自社開発の工事積算ソフトを納入した実績があった。その中で同社と自治体で観光推進に向けた取り組みを協議する機会があり、3カ月間を実証期間として、観光アプリとビーコンをベースにしたスタンプリーの実証に踏み切った。実証では、吉井地区中心部の半径約300mにビーコンセンサーを68個設置。観光客がアプリをダウンロードしたスマートフォンを見ながら歩くと、店舗など周辺の情報自動的に受信できる仕組みをつくった。

### 位置情報感知で情報・サービスを現地配布 リサーチアンドソリューション

システム開発の(株)リサーチアンドソリューション（福岡市博多区上呉服町、美濃部直樹社長）は、自治体と連携し、観光分野に特化したアプリと独自のシステムを展開して

町、美濃部直樹社長）は、自治体と連携し、観光分野に特化したアプリと独自のシステムを展開して

町、美濃部直樹社長）は、自治体と連携し、観光分野に特化したアプリと独自のシステムを展開して